

文学的な文章を通して、読み取る力を育むための視覚教材
「宮沢賢治の世界観に迫るために～幻灯の中の様子～」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校・小学部 6 学年
	障がい名等	聴覚障がい
	子どもの実態 (学習上又は生活上の困難さ等)	補聴器、人工内耳の装用により、聴覚を活用し、音声や手話を用いたコミュニケーションをとることが可能である。 文学的な文章の学習では、叙述をもとに登場人物の言動や場面の様子などは読み取ることができるものの、作者の思いや考え、描写から読み取りを深める力が乏しく、課題がある。
授業について (教材・教具を使用した授業や指導場面)	教科名等	国語
	単元(題材)名 単元(題材)の概要	自分の感じたことを、朗読で表現しよう 「やまなし」 (光村図書 6年) 文学的な文章を読み、作者の描いたすぐれた表現を味わうことをねらいとしている。二つの幻灯について、場面の設定と捉え、絵やあらすじ、言葉で表す活動を行い、内容理解を深めたのち、題名の意味に迫り、まとめの朗読をする。
教材・教具・支援機器について	教材・教具・支援機器	<p>【名称】幻灯の中の様子</p> <p>【画像】教室掲示と絵</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>図 1</p> <p>幻灯</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>図 2</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>図 3</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【図 1】 教室内に「やまなし」の世界を再現した。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【図 2・3】 内容理解の際に、場面の様子を絵に表した。</p> </div> </div>
	ねらい・工夫点等	文章だけではとらえにくい、「やまなし」の世界観への理解を深めることをねらいとした。図 1 は、カラーセロハンやスズランテープで、水中から見える風景を教室内で視覚化した。一部の教材は動く仕掛けをし、より作品に近い世界観を再現した。図 2・3 は、「五月の幻灯」「十二月の幻灯」の場面を児童が文章から読み取ったことを絵に表現した作品である。読み取ったことを児童同士でやりとりする際に使用できるようにした。
	材料・作成方法等	青いセロハン、スズランテープ、画用紙等
子どもの変容や評価	教室内に物語の世界観が表現された教材があることで、児童は、場面の様子について主体的に考えることができた。また、文章を読むだけでなく、絵に表したり、あらすじをまとめたりする活動を取り入れたことで、二つの幻灯(場面)を対比して考える際に、作品に対するイメージがふくらみ、二つの場面の違いに気づきやすくなるという効果があった。活発に自分の考えを発言したり、ノートに記入したりすることができた。	